

通信・制御ケーブル用、Uエレメントコネクタが50周年 世界各国の通信事業者に信頼性が評価されたコネクタ

住友スリーエム㈱で販売している通信・制御ケーブル用コネクタ、<3M><スコッチロック>Uエレメントコネクタが製品誕生から50周年を迎えました。

電話、FAXをはじめとした通信機器や現代社会において欠くことができないコンピューターに代表される情報機器は、機器の内外であらゆる電氣的な信号が流れることで動作しています。この信号が流れる“経路”を電氣的に接続する役割を果たしているのがコネクタです。

かつて電線を接続するには、その絶縁皮膜を剥き半田付けやねじ止めを行っており、膨大な量の結線には長時間にわたる煩雑な作業が不可欠でした。

1958年、3Mは圧接技術に関する特許を取得しました。絶縁皮膜を剥かずに電線をコネクタ端子に押し込むことによって、絶縁皮膜が切断されながら電線が導体に挟み込まれ、電気接続が可能になるという画期的な方法でした。この圧接技術を製品化したのが、<3M><スコッチロック>Uエレメントコネクタです。当時の米国の電話網を担っていたAT&T社をはじめ全世界の電話会社で現在に至るまで利用され続けています。

国内では日本電信電話公社(現NTT東日本、NTT西日本)が1967年12月にCCPコネクタとして正式採用し、通信事業者各社に利用されているほか、電話・FAX機器等の配線用ケーブル、家電製品のメンテナンス時の基盤配線接続から、鉄道模型のモーター配線のよ
うな趣味の分野まで、各種の通信および信号ケーブルの接続に利用されています。

<3M>、<スコッチロック>は、3M社の商標です。

<3M><スコッチロック>Uエレメントコネクタについてのお問い合わせは、
住友スリーエム カスタマーコールセンター 0570(012)321